

大山委員長殿

平成 28 年 4 月 26 日
生産技術研究所 荻本和彦

第1回委員会を欠席させていただくにあたり、事前配布の資料に基づき、本意見・質問書を提出します。

若干細かいものも含まれますが、議事に含めていただければ深甚です。

意見・質問書

1. 資料5 電源入札の検討に資する需給バランス評価・需給というリスク分析について

Slide 4 電源入札等のプロセス

- 図の最上段にあり、委員会名にも入っている「需給バランス評価等」の定義をあきらかにしてほしい。

「調整力及び需給バランス評価等」の省略語なのか。

省略語であるとする、紛らわしいので、この図では「調整力および需給バランス評価等」と改めることが望ましい。

省略語でないとすると、「需給バランス評価（予備力・調整力評価）」という表現は適切なのか？予備力は需給バランスの中にはいるのか？

Slide 5

- 「一般送配電の調整力」とあるのは、実体としては予備力のことか？
- 今後の再生可能エネルギーの変動、PVによる午前と夕方のピークの発生などに即した議論を行うためには、「需要デューレーション」を念頭においた議論では誤解が生じる。今後の資料においては、デューレーションカーブを資料に用いることは、なるべくさけるべきではないか。

Slide 6,7

- 図および表中の「需給変動リスク分析」において、「需給変動」とは何か？
- 需給バランス評価におけるリスク分析であるなら、Slide 5で単に「リスク分析」と言っているように、新たな言葉を使う必要はないのでは？

2. 資料6 今年度の検討スケジュールについて

Slide 3

- ここでいう「調整力の公募」の「調整力」という言葉は適切か？「予備力」ではないのか？
- 「調整力必要量」とは、資料 5 Slide5 に示されたいわゆる「予備力」と読めるが、それは正しいか？そうだとすれば、本来の意味での従来型の調整力（ガバナーフリー容量、負荷周波数制御容量、その他）の議論をスケジュールに入れるべきではないか？
- 「実績データの分析」の対象データは何か？また、それらのデータから何を分析するのか？

使用するデータの仕様、フォーマットを提示してほしい。

特に、再生可能エネルギー発電の予測と実績データの本年度のとりまとめ、評価はどうするのか？

- シミュレーション作業会では、何を目的に、何を対象に、どのようなシミュレーションを行うのか。
- FIT 法が現在求める、あるいは PV の大量導入で必要となる、新たな調整力として、下げ代、余剰発電時の揚水運用などを議論すべきではないか
- 太陽光発電の予測誤差など、新たな要因による需給運用のリスクは検討しないのか。

3. 資料 7 長期断面の必要予備力の検討について

Slide 3,4

- 「ピーク需要に対して十分な供給力があるか」という意味のいわゆる予備力必要量の議論のみとなっていると読めるが、それは正しいか？
- 長期断面の下げ代、負荷周波数制御容量、負荷変化速度といったいわゆる調整力の議論は行わないのか？

Slide 14

- モニターできる需要には、**net metering** のもとでの太陽光発電の自家消費分が含まれる。本来の需要の変動と需要側の太陽光発電の変動は、まったく異なるものであり、これをどのようにモデル化するのが正しいのか？

4. 全体を通して、

- すでに発生している再生可能エネルギーの大量導入下の電力システムの「調整力および需給バランス評価等では、実態をなるべく正確に反映したモデル解析が必要となる。モデル解析から実用に耐える結果をえるためには、それなりの時間が必要となる。現在 OCCTO が保有する、現在開発中、将来開発する各種解析モデルについて、仕様、解析目的などを示してほしい。

- 前年度同様、今年度議論する内容と、議論しない内容を同時に整理してほしい。
- 今年度は海外調査を行うのか。行うとして、調査目的、内容などは？
- 本委員会は複雑な電力システムの運用を対象とし、とりわけ正確な議論が求められるため、昨年度同様、用語の定義を着実に進めるプロセスを再確認してほしい。

以 上